

|| 企業調査レポート ||

アクアライン

6173 東証グロース市場

[企業情報はこちら >>>](#)

2022年11月9日(水)

執筆：フィスコアナリスト

FISCO Ltd. Analyst



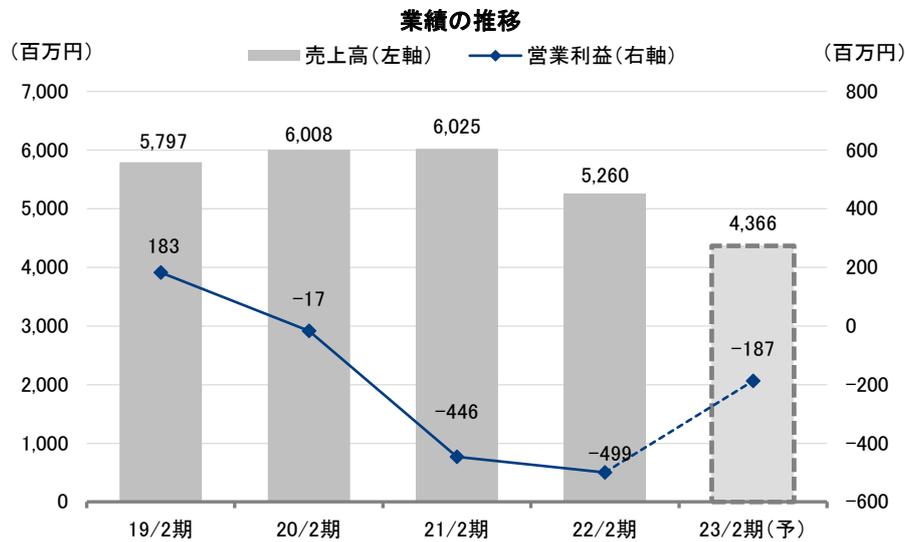
FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 会社概要

水まわり工事を軸にビジネスモデルを変革し再生を図る

アクアライン<6173>は、水まわりサービス（支援）事業、ミネラルウォーター事業を主力事業としている。2023年2月期上期のグループ売上高2,199百万円のうち、水まわりサービス（支援）事業の売上高は1,474百万円、ミネラルウォーター事業の売上高は599百万円を占める。



出所：決算短信よりフィスコ作成

■ 業績動向

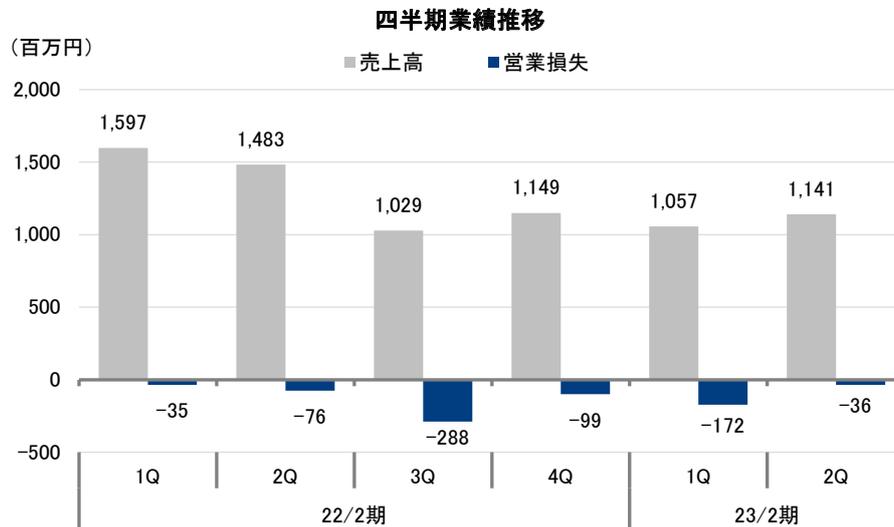
行政処分を機にフランチャイズから収入を得る ビジネスモデルに事業を転換

同社は2021年8月31日から9ヶ月間、業務の一部（勧誘、申込受付、契約締結）について停止命令の行政処分を受けていた（訪問販売形態以外の方式による業務は継続可能であった）。

業績動向

この行政処分を重く受け止め、同社では特定商取引法を中心としたコンプライアンスに関する取引状況の分析・検討をするための外部弁護士等による調査を実施し、また主力の水道工事・修理のビジネスモデルを変革し再生を図った。具体的には、行政処分前までは同社正社員スタッフが工事・修理等のサービスを提供していたが、現在は加盟店スタッフが通信販売形式によりサービスを提供し、同社はコールセンター業務等加盟店支援業務を行う加盟店ビジネスモデルに事業内容を変更している。

ビジネスモデルの変革により、2022年2月末の従業員数は112人となり、前期末比で70%以上減少した。これにより固定費の大幅削減が進んでおり、2023年2月期第2四半期（6月～8月）の営業損失は36百万円と、黒字化が見えてきた。



出所：決算短信よりフィスコ作成

従来、同社は「職人」の労働環境や賃金の確保に重点を置いた施策を行ってきた。ただし、職人数の維持・増加に伴う採用コスト並びにコンプライアンスに対するコストに照らし、行政処分後は、自社正社員による水まわりの工事・修理サービスの提供から、加盟店を支援しフランチャイズから収入を得るモデルに事業を転換している。

業績動向

「水まわりサービス（支援）事業」では、創業 27 年のノウハウを生かし、加盟店に下記のサービスを提供している。

- ・ 技術支援（初期研修及び随時研修）
- ・ マナー研修及びコンプライアンス管理
- ・ e ラーニングの導入
- ・ デバイス及びシステムの貸し出し（タブレット・スマートフォン・録音機器等）
- ・ 工具・機材レンタル
- ・ 工事施工支援
- ・ 顧客の紹介
- ・ コールセンター業務の代行
- ・ 顧客管理システム
- ・ 見積請求作成システム
- ・ 材料発注システム及び販売（同社のスケールメリットを活用）
- ・ 財務経理代行
- ・ 顧客問い合わせ代行及び管理
- ・ スタッフ採用サポート代行

■ トピックス

事業買収による加盟店ビジネスの加速 ミネラルウォーター事業にも追い風

1. 加盟店拡大に向けて、駆けつけ事業準備の株式を 51% 取得

2022 年 10 月時点で水まわりサービス（支援）事業の加盟店は、職人数が 100 名以上の企業が 1 社、30 名以上が 1 社、1 名が 3 社の合計 5 社となっている。

水まわりサービス（支援）事業の加盟店拡大に向けて、ジャパンベストレスキューシステム <2453> の完全子会社である駆けつけ事業準備（株）の株式の 51% を取得し、子会社化することを決定した。駆けつけ事業準備は約 400 社の加盟店を有し、事業規模は年間売上高が約 10 億円、営業利益が約 1 億円となる見込みである。株式譲渡実行予定日は 2022 年 11 月 30 日で、2023 年 2 月期業績への寄与は 3 ヶ月間であるが、来期以降は通期での寄与が期待される。

トピックス

2. ミネラルウォーター事業にも追い風

ミネラルウォーター事業では、地下深くから汲み上げた原水を、全国15ヶ所の採水工場と提携し外気に触れない無菌状態でボトルングしたミネラルウォーターを自社ブランド「aqua aqua」及びプライベートブランドにて提供している。うち、プライベートブランド商品の売上高は約70%で、大学、ホテル、企業、官公庁、自治体などに提供している。プライベートブランドのミネラルウォーター提供先のホテルや大学にとっては、オリジナルラベルのミネラルウォーターを顧客に提供することでブランディング強化が図られ、また市場に流通する既製飲料水よりも高品質で安価といったメリットがある。プライベートブランドのミネラルウォーター販売先としては大学やホテルの割合が高く、これらは新型コロナウイルスの感染拡大でオープンキャンパスの実施が見送られたり、またホテル宿泊者数が激減したことで影響を受けてきたが、現在はこの影響もほぼ終息し、ヒトの移動活発化などにより事業環境には追い風が吹いている。

同社のオリジナルウォーター実績一覧（抜粋）



容器の素材や形状、ラベルデザインからミネラルウォーターの水質までカスタマイズが可能な「オリジナルウォーター」は需要が高く、現在までにホテル・大学・企業様等に数多く導入されており、現在も販路や売上を拡大中。

出所：決算説明会資料より掲載

■ 今後の見通し

8月には単月黒字化を実現

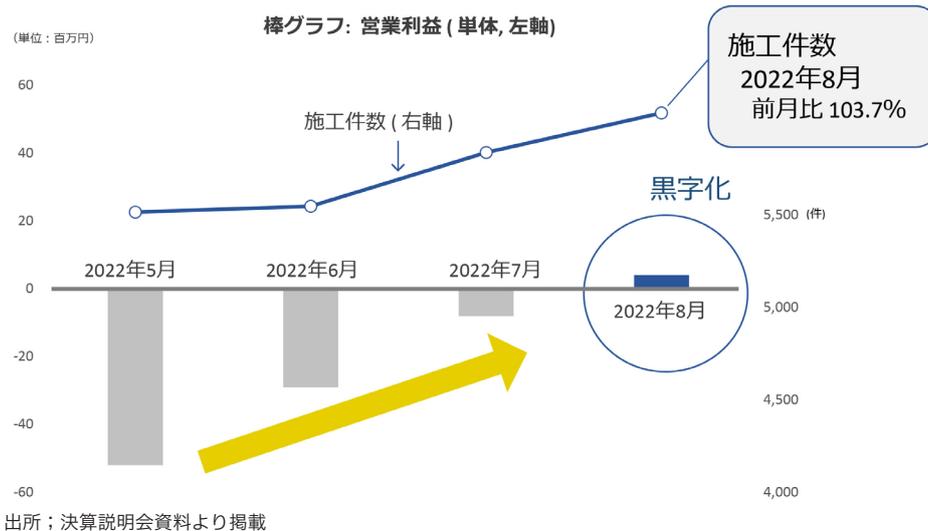
2022年5月30日に業務の一部停止処分が終了し、営業活動が順調に回復している。「水まわりサービス（支援事業）」の施工件数は、5月及び6月は月当たり5,500件程度であったが、7月、8月と増加し、8月には単月黒字化が実現した。ただし、業績の季節性には留意が必要で、帰省などで家に人が集まりやすい8月や年末の大掃除が行われる12月、水道管の凍結・破裂などが発生しやすい12月～2月は、業績が膨らみやすい傾向がある。

今後の見通し

業績見通し

営業が順調に回復、単月黒字化

2022年5月30日に業務の一部停止処分が終了し、営業活動が順調に回復。「水まわりサービス事業」の加盟店ビジネスへの移行も軌道にのり、2022年8月は単月黒字化を実現。



2023年2月期営業利益については、187百万円の赤字見通しとなっている。しかし来期については、駆けつけ事業準備を子会社化したことなどにより加盟店の大幅増加が期待でき、またミネラルウォーター事業についても、ヒトの移動活発化などで需要増加が期待され、営業利益の黒字化が期待される。

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp